

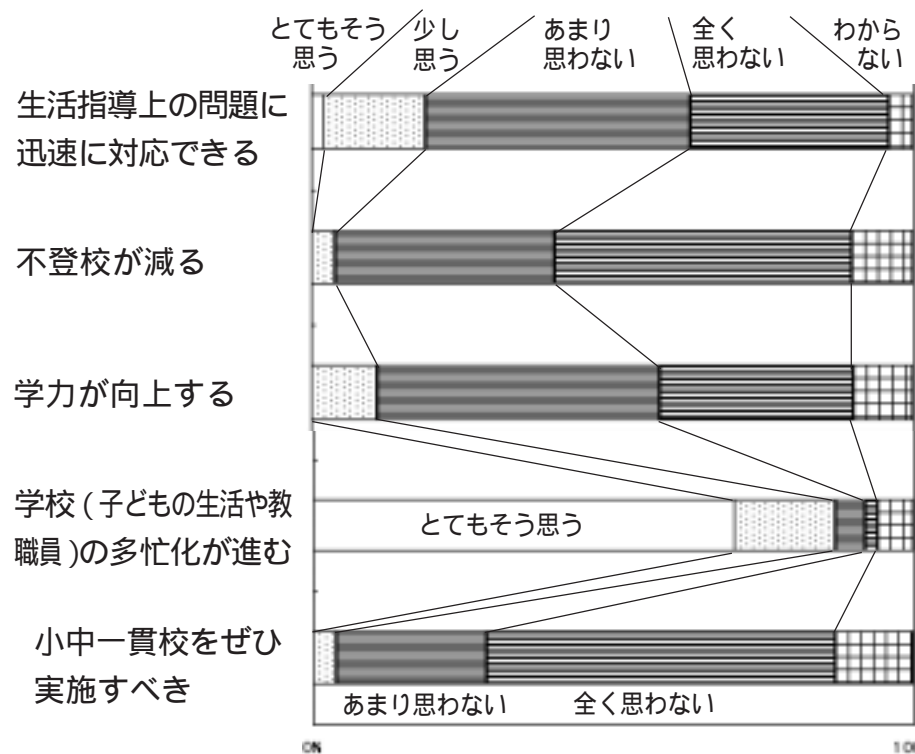
どの子ども大切にされる教育の実現へ 小中一貫校より先にやることがあるのでは

羽村市小中一貫校情報交換会」が開催されました

羽村市小中一貫校対策会（都教組・アイム89・東京教組）の呼びかけで「羽村市小中一貫校情報交換会」が開かれ、教職員7名・羽村市議会議員が共産党3名を含む7名が参加し、活発な意見交換が行われました。

対策会が市内小中学校教職員（管理職を除く約230人）を対象に行ったアンケートは140枚の回答が寄せられ、小中一貫校で「学力が向上すると思えない」と考える人が79%、一貫校を実施すべきでないと考える人が83%など大多数の教職員が疑問に思っている結果が出たことがあきらかになっています。

対策会が行った教職員アンケートの一部を紹介します



意見交換の中で、議員から「二期制についての総括を教育委員会側も一般職員の側もやるべきだ」とあり、教職員からは「今の職員会議は、上意下達だけで、一般職員の意見は聞いてくれない」と現状が報告されました。

議員から「小中一貫校をやめさせたとして、では、今の羽村の教育の問題点をどうやって解決するのかを提言しながらこの問題をアピールしてほしい」「このように先生方が立ち上がったのは素晴らしいこと」「保護者や一般市民にもこの問題を知らせてほしい」などの意見が出されました。

教職員側からは教育現場の状況が口々に出され「三〇人学級実現の運動とあわせて取り組んでいきたい」「九月定例議会での議員の皆さんの活躍に期待しています」等の発言がありました。

お知らせ

今週の赤旗日曜版は10日・17日合併号となりますので、来週17日の日曜版の配達はありません。

市教育委員会主催の 中間報告説明会

「羽村市立小中学校一貫教育校検討委員会中間報告」（羽村市HPに掲載）の説明会が三中、武蔵野小教職員と保護者代表（PTA役員）を対象として行われます。一般保護者も参加可能だそうです。

日時 9月17日（水）午後3時～4時
場所 三中多目的ホール

羽村市の教育の向上のために 市に望みたいこと

（回答140人・複数回答）

30人学級の実施	111人
提出書類の簡素化	101人
2学期制の再検討	98人
教育予算の増額	81人
市独自の講師等の増員	74人

羽村民報

2008年8月10日 No.905
発行 羽村民報編集委員会
責任者 野崎 衷

日本共産党羽村市委員会事務所
電話 579-2132 FAX 579-2106
http://www.jcphamura.org